

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成23年2月7日

★ **災害と防災から復興を学ぶ！**
—JICA研修生32名来所—

発信元

建設専門官

児玉 幸三

1月27日(木)、アジア防災センター(ADRC)の国際協力事業の一環として、JICA研修生32名(21カ国:アジア、アフリカ、南米)計37名が水無川砂防現場(大野木場監視所、無人化施工現場)・雲仙岳災害記念館を訪れました。

研修テーマは「総合防災行政」「アジア地域防災文化の普及・定着」で当事務所の概要説明は基より、島原半島ジオパークの講義(ジオパーク国際ユネスコ会議事務局長:杉本氏)もあり、研修生は熱心に聴講しました。中でも災害から地域振興への理念と実施については多くの質問が出され、自国への応用を考慮する上で非常に参考になったと好評でした。当日は、まれにみる多くの海外研修生ということもあり(当事務所は年数回、外国人研修があるが)、NHKからも取材にこられ、後日(28日)長崎県内全域に報道されました。



ジオパークに質問が集中!



無人化施工に熱心な質問